

平成30年度 事業報告

認定こども園木の実

1. 教育・保育の質の向上

① 研究テーマ「子どもの体力向上につながる教育・保育の実践」

職員間で「体力向上は歩くことから」と話し合い、散歩時には歩数計を使用し、歩いた量の可視化を図っていった。子どもたちの歩く意欲につなげることが出来た。5月、2月に4歳児の体力測定(3種目)を行う。5月の測定では、投げる力が平均を下回る結果だったため、腕の力をつける雑巾がけやボール遊びの機会を積極的に取り入れていった。2月の測定では大きく数値を伸ばし、平均値となった。瞬発力、敏しょう性の測定では5月、2月ともに平均値ではあるが、成長曲線が月齢の経過に応じたものに過ぎず、取り組みの成果はあまり感じられなかった。測定結果は、集中力や体調の影響が出たり、すぐに成果が出るとは限らないため、継続して取り組んでいく。職員が活動の目的意識を捉えること、職員の関わりや子どもを取り巻く環境の大切さを改めて考えさせられた。

2. 子育て支援の充実

① ママリフレッシュの企画・実施

手作りおもちゃをつくる機会を設けていった。母親同士の情報交換を図る場、子どもの発達を学ぶ場となった。参加された方のうち、5名の方が次年度入園となった。

3. 業務改善

① 保護者発信のデジタル化

パソコンを増設し、職員が使いやすい環境を整えた。ブログ発信をしていった。

② 記録用紙の改善

3歳以上児の記録用紙を見直した。書くスペースを少なくし記録の量を減らす。書く内容をまとめる力量、質の向上が問われるようになった。

4. 課外教室の見直し

① 育ちにつながる教室の実施及びPR強化

カワイ体育教室に依頼し、レッスンを実施する。レッスンを受けていた子の中には、当初跳び箱が出来なかったが、10月の運動会では6段を跳べる成長につながった子も見られた。レッスン生募集のため、3か月に1度、保護者に入会案内を配布していった。